

平成26年度事業評価結果に対する検討結果報告書

| 事業番号 | 事業名 | 事業担当課 |
|------|------------------------|-------|
| 10 | 文化スポーツまちづくり振興財団運営費助成事業 | 資産経営課 |

| 事業評価の判定結果 | 市の対応方針 |
|-----------|--------|
| 見直し | 見直し |

1 概要

主な見直し事項

一部の事業を補助対象から除外

対応方針等の具体的内容

市と財団の事業実施の役割分担や個別の事業の必要性を精査することで補助金を削減する必要があるとの理由により見直しの評価を受けました。これを受け、財団の事業と関わりの深い4課及び財団で連絡調整会議を開催し、補助事業の見直しを進めることとし、芸術文化振興事業の一部の事業を補助対象事業から除外する等、補助対象事業を見直しました。

財政的効果

| 平成27年度予算額(案) (千円)(A) | 平成26年度予算額 (千円)(B) | 差引額(千円) (A)－(B) |
|-------------------------|----------------------|--------------------|
| 61,918 | 61,940 | ▲ 22 |

特記事項

これまで補助していた事務費の補助を一部見直し、1,820千円の削減を図りましたが、一方で人件費の増額を要しました。

※平成27年度予算額(案)は、平成27年度平塚市各会計予算が平塚市議会で可決されることによつて確定するものです。

2 各意見等に対する見解

| 作業メンバーの意見、作業シートの記載内容に対する見解 | |
|---|--|
| (1) 事業の成果について ・成果が不明な状況での補助金を見直すべき。目標単位の助成とするのが良い。 | 財団の事業報告や経営計画・事業計画で示される事業の評価結果により財団の事業の成果を把握し、文化事業、スポーツ事業などの大別される事業ごとに補助率削減等の指標を設定し、補助金額を削減していくこととします。 |
| (2) 個別事業の精査について ・もう少しイベントごとにチェック、工夫すれば、補助金を減らせるのでは。(イベントの見直し、内容見直し、方法見直しなど) ・財団の個別の事業の見直しを進めていくことで、補助金の削減につながる努力をしてほしい。 ・財団への委託事業、補助事業をできるだけ見直し、固定せず、業務のスリム化をすべきである。統合時に明確にされるべきであった。 | 個別の事業、イベントごとに経費等のチェックを進めることとし、受益者負担の考え方の整理や利用者が少ない事業等の実施手法の検討を複数年の経過を確認しながら進めていくこととします。 |
| (3) 財団の自主自立について ・自主自立の道が残されているのであれば、5・6千万円を補助し続けることの説明責任が果たせない。 ・市、財団共に工夫しているようだが、自主自立のために何ができるか徹底した検証が必要。 | 財団の短・中期の経営計画や事業計画の検証を行い、市の関係課と連携して財団の経営基盤の強化に向けて必要な協議、調整を行っていきます。 |
| (4) その他について ・3団体が強引に一つになった弱みを異業種交流からのイノベーション、強みにかえる。 | 3団体の統合の成果として財団は文化事業とスポーツ事業のジョイント事業や総合公園利用者を対象に財団が管理する駐車場の利用料金の割引を行っています。今後においても、財団の各事業課がさらに連携して特色ある事業を実施するよう助言等を行っていくこととします。 |